

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまち篝火コンサート		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -③、(2) -①・④	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成10年	実施回数	年3～4回	
日時	平成27年8月～9月の間の土曜日			会場	奈良市ならまちセンターコミュニティ広場	
目的	奈良出身のアーティストを中心とした野外コンサートを開催し、市民や観光客に音楽を親しんでいただき、夜のならまちの魅力を発信する。					
内容	奈良らしい音楽を特徴とした野外コンサートを実施。地域協力団体や施設内レストランと連携し、飲食コーナーを設け、地元特産の食材を使用したメニューをコンサート開催日限定で提供する。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	600,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	600,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	599,662	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	599,662
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	会場は野外ではあるが、1回の公演に対しての入場者収容数が約300人に対して3回の公演の平均入場者数が366人と大幅に上回っている。		
	参加者満足度		10	17年目を迎え、毎年恒例となっているこの行事に対して非常に関心が高いと感じている。		
	市民参画・協働の成果はあったか		8	地域団体と協働でこの行事を盛り上げ、地域の活性化に貢献できていると考える。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		8	毎年春から出演者の選定など協議を重ねている。プロデュースをしていただいている方もご自身が演奏者であり、レコーディングスタジオを運営されている事もあり幅広いプロ・アマミュージシャンの出演が実現している。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	多くは観光客に対して周辺の旅館・ホテルへ広報し、行事開催日に宿泊される方への案内を行っているために多くの来場者があった。また奈良の大型イベントである燈花会などに日程を合わせるなど相乗効果にも期待して行った。		
総合評価（自動計算）			9			
参加者や協働相手からの意見			入場者からは毎年7月頃になると日程や出演者のことで問い合わせが有るほど、楽しみにいただいている事が分かる。28年度はその会場となる広場改修があることから、協力団体からは継続して行うことが出来るのかという意見もある。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	来場者からは高い評価をいただいている事業ではあるが、一部の周辺住民からは演奏の音に対する苦情が寄せられている。音量の制限や時間帯を検討するなどが必要になってきている。17年間という長きにわたって行ってきたが、この28年度の改修工事を機に違う形での開催を考えることが必要となっている。			28年度の改修工事により、客席を設置していたところが芝生になることなど本事業が開催できるかどうか検討する。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまち落語会		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -③、(2) -②・④、(4) -③	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成20年	実施回数	年1回
日時	平成28年1月24日(日)			会場	奈良市ならまちセンター市民ホール	
目的	伝統芸能である「落語・講談」を広く市民に親しんでいただく。					
内容	「ならまち」に残る昔話や民話など交えて創作するなど、落語を通じて「ならまち」の魅力を広く発信する。冬の行事として集客に貢献することで地域経済の活性化を目的とする。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	10,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	92,000	支出	102,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	9,300	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	126,000	支出	80,287
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		6	入場者数が84名となり当初の予想をはるかに下回る結果となった。		
	参加者満足度		8	アンケート回収率が67%、満足度81%。昨年と比較すると満足度は3%減少している。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	民間団体である「奈良町落語館」と協働で開催している。またこのことにより「ならまち」で行われる毎年秋の落語フェスティバルも盛り上がりを見せ、「ならまち」イコール「落語」を次第に定着しつつあると感じている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		8	奈良市出身の落語家「笑福亭生寿さん」を中心とした落語家3名で行っている。秋には今年で4年目となる「笑福亭鶴瓶さん」の一門会を開催する。このクラスになると300名定員のチケットが即日完売になるが、その大半は大阪・京都・神戸など他府県からの参加となり、地元である地域住民が少ないように思われる。この事業は奈良出身や奈良で活動している噺家を応援するとともに奈良独自の特色を活かした寄席の実現をめざしている。テレビなどの露出の少ない噺家を起用しながら、満席にするにはまだ少し時間がかかると感じている。		
	ターゲットは適切に絞れたか		7	笑福亭生寿さんが中心となって行う寄席も今年で3回目。ようやくファンが付き始め、奈良市内に関わらず香芝・大和郡山・木津・大和高田などから参加する方も増加している。		
総合評価(自動計算)			8			
参加者や協働相手からの意見						
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	一時の落語ブームからは少し落ち着きを見せ、メディアで露出の多い落語家でないとなかなか集客には繋がりにくい。その中でも何の縁も無い落語家を誘致するよりは奈良の特色を活かせる演者選びを心がけるようにしている。			同グループが手掛けている年4シーズンに行われる「ならまちナイトカルチャー」と連携した行事を検討する。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまち文化フェスティバル		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①・③、(2) -①・⑤、 (18) -②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成20年	実施回数	年1回	
日時	平成28年3月12日（土）・13日（日）			会場	奈良市ならまちセンター全館	
目的	市民に活動の場を提供し、当施設が新しい文化拠点となることを目的とし開催する。					
内容	奈良市在住または在勤の各種団体が、キッズダンス・フラダンス・新舞踊・ピアノ演奏・大正琴・太極拳・朗読など様々なジャンルの発表を行う。ホールロビーでは製作体験コーナー、外広場では同時開催として三重県伊賀市と協力し「伊賀上野忍者フェスタ」を開催。奈良・伊賀の物産展や足湯、忍者体験を開催。					
事業費（円）						
予算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	177,000	支出	177,000
決算	市費 （一般財源 ・指定管理料等）	0	その他収入 （受益者負担 ・事業収入等）	309,000	支出	217,251
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	年間で最も多く来場者数があるこの行事。昨年を上回る出演者数（38団体：700名）、入場者数3,500人が来場。		
	参加者満足度		10	毎年1回3月に行っているが、開催数をもっと増やしてほしいという声があるほど盛況である。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	企画運営面では市民が直接参加はしていないが、出演者はすべて市民によるものである。また集客面においてもそれぞれの団体が正規のチラシ以外に独自で作成したものを友人・知人・家族等に配布し集客に努めていただいている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		8	この行事自体、市民自らが主役となり行う事業であり、通常利用していただいている団体を含めた多くの活動団体が一堂に会する文化祭である。その為に当施設としては発表の場を提供し、今後の利用者誘致に繋げたいと思い開催している。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	子供から高齢者までさまざまな年齢層の出演者が参加することで多くの家族・友人の来場者があった。また外広場にてイベントを行い、市外からの観光客の参加も多く見受けられた。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			協力団体には奈良警察・自衛隊奈良協力本部・奈良トヨタ・伊賀市など多くの団体が参加した。行事に参加することでそれぞれの広報活動にもつながり、十分な成果があったと喜んでいただいている。恒例となっている行事ではあるが、引き続き来年もぜひ参加させてほしいという声をいただいている。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	毎年盛り上がりを見せている本事業。その参加団体に共通している事は独自でホールを借り上げて行うことが金銭面でも集客面でも難しいと感じている。これほどまでに多くの団体からの参加希望があり、抽選会を行い参加数を決定することとなっている事は施設にとって大変うれしいことであり、今後も引き続き継続して行う。			開催日数を2日から3日に増やす事を考えている。参加者からは年に数回開催してほしいという声があるが、参加者数も多く、細かい打ち合わせに相当な時間を要するために他の行事との都合上、年数回の開催は難しいと感じている。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		ならまち文化講演会		担当課 施設名	(奈良市ならまちセンター)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -④、(2) -④、(3) -②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成10年	実施回数	年1回	
日時	開催なし			会場	奈良市ならまちセンター会議室予定	
目的	市民・観光客を対象に奈良の文化財に対する理解を深め、保護・普及を身近に感じていただくことを目的に開催する。					
内容	毎年秋に奈良国立博物館で行われる「正倉院展」の事前学習会。宮内庁正倉院事務所から講師を招き、公開される宝物の解説・見所及び保存法などを講演していただく。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	37,000	支出	37,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	0
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)						
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		0			
	参加者満足度		0			
	市民参画・協働の成果はあったか		0			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		0			
	ターゲットは適切に絞れたか		0			
総合評価（自動計算）			0			
参加者や協働相手からの意見						
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	5月頃から宮内庁正倉院事務所との講演会日程・講師派遣を調整し、実現するよう進めていたが最終7月に日程調整が上手くいかず開催することが出来なかった。			毎年、事前学習会として行うために正倉院展が始まる10月下旬前の10月初旬から中旬の間に行っていた。正倉院事務所内の研究員及び調査員の異動等で講師となる人材に限られており、その方に調整が非常に困難であった。正倉院展開催直前は特に調査員等が忙しい時期でもあることから次回からは9月後半に開催するなど調整が必要である。正倉院展自体がいつから開催されるかはその年の夏以降にならないと発表されないこともあり、市民だより等の広報を行う締切を考えると厳しい状況ではある。		